

リピーターに支えられた  
食・観光フェア

2月22日と23日の2日間、「ひやま」の観光や特産品をPRする「食・観光フェア」を東京都大田区で開催し、榎山管内各町が連携して物産販売などを行いました。今年度は新型コロナウイルスの影響で6町での取り組みとなりましたが、例年会場となっていたJR蒲田駅前の東急プラザでは、駅前広場と7階フロアで特産品などを販売し、本町からは「焼きッブ」や「ホッケのフライ」を調理販売したほか、「ふっくりんこ」「根ホッケ」など、6町全体で海の幸と山の幸を豊富に取りそろえたラインアップを販売しました。今年度は新型コロナウイルスの影響により、外出が控えられている影響から客足が減少した感がありますが、一人あたりの購入量が増え、「5年目だね、来年も来てね」と嬉しい声掛けをもらうなど、多くのリピーターに支えられ、ほぼ完売するほどの盛況ぶりとなりました。



自作雛人形ズラリ!  
不要となったものを有効活用で

3月3日のひな祭りにあわせ、上ノ国地区の長谷川幸子さんの自宅玄関に、家庭で不要となったもので作られた多数の雛人形が飾られました。雛人形は、目葉の空き容器やペットボトルのフタ、ホッキ貝の殻、使わなくなったカーテンなどを用いて、これまで100体を超える人形が作られ、季節ごとに五月人形なども飾って楽しんでいくとのこと。幸子さんは、「小さい頃、母が紙クズなどを紙に張って花の絵を作ったりしていたのを見ていました。その影響で、私も何か身近なものに有効活用してできないかと思いついた。6、7年前に小さな人形を3つ4つ作ったのが始まりです」と話し、小さな人形の可愛らしい顔が大好きとのことでした。この雛人形は、3月いっぱいまで玄関のひな壇に飾られるとのことでした。



花沢湯ノ岱両温泉が営業再開  
新型コロナウイルスの影響

3月20日、中国武漢にて発生した新型コロナウイルスの世界的大規模な感染拡大による影響により、2月29日から閉鎖していた花沢温泉と湯ノ岱温泉の営業が再開されました。各温泉の玄関にはアルコール消毒液が置かれ、入館前の手の消毒をお願いし、極力ウイルスを持ち込まないようにするよう配慮された営業再開でしたが、多くの方々が開館時間とともに集まりました。その中のお一人にお話を伺ったところ、「もちろん温泉も良かったけど、久しぶり温泉仲間と会えた。そういう意味でも営業再開は嬉しい」と話し、周りの方々も深くうなずき、久しぶりの上ノ国の湯の復活を喜んでいる様子でした。



感謝と別れの涙  
上ノ国高校で卒業式挙行

3月1日、上ノ国高校にて卒業式が挙行され、37名の卒業生が出席しました。新型コロナウイルスによる世界的な感染拡大の影響により、北海道から非常事態宣言が発せられ、小中学校は自宅待機となるなど、上ノ国高校も卒業式の実施が前日まで危ぶまれていましたが、卒業生と先生のみでの出席という形で挙行されました。在校生、来賓、親族などがいよいよ静かな卒業式ではありましたが、生徒代表として壇上で別れの挨拶をした三浦ゆう君が家族や先生、仲間たちへの感謝を述べる時、皆涙を堪えられず、心から別れを惜しんでいました。

